

令和3年10月吉日

さいたま市市長
清水 勇人 様

一般社団法人
さいたま市手をつなぐ育成会
代表理事 加藤 シゲヨ

錦秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は障害者福祉に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、知的に障害のある人たちの親なき後の本人の自立の問題が多く、多くの会員から多数寄せられている状況の中、育成会としても様々な研修等重ねているところですが、これといった解決策はなかなか見つかりません。

そこで、行政のお力を頂きながら、会員の皆さんの不安を一緒に考えて頂けますように、ここに要望として提言させていただきました。是非、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

要望事項

1. グループホームの家賃補助について

現在グループホームの家賃補助は全国共通の1万円です。

さいたま市は生活ホームには1万6千円の補助が出ておりまので、グループホームにも同額の補助金を出してほしい。

2. 工賃向上計画の実現に向けて

現在各事業所の工賃の実態は最高でも3万円ほどです。2級年金の人が自立していくためには最低でも3万円くらいの工賃収入が必要です。

行政も含めての事業所と福祉団体とのトライアングルで障害のある人たちが自立できる方法を模索しながら、親亡き後の心配を少しでも軽減出来るよう計画の実施をお願いします。（東京大学先端科学技術研修センター近藤武夫氏の取り組みを実践してください）

3. エスプール就労支援事業について

育成会として、要望も提出したこの事業の行政との関わり方について、内容の精査を出来るような位置づけをお願いしたい。

育成会としても、利用者がより良い環境の下で働けるように、関わりを持ち続けていきたいと思えます。

4. 特記事項

災害時の要配慮者の避難誘導のシステムの構築を早急をお願い致します。

（避難所で路頭に迷う事の無い様に）